

# 白方地区自治会だより

第 23 号

令和 4 年 3 月 10 日  
企画・総務部会  
(287) 3534

## 1 年の活動を振り返って

白方地区自治会長 井上 一

令和 2 年 1 月に日本で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら生存し、令和 3 年に入りましても感染症の収束の兆しが見えない過酷な日々が続きますが、コロナ感染症の谷間、谷間を見ながら 4 月に規模を縮小した定期総会をはじめ「防災訓練・マンホールトイレ設置訓練」、「村政懇談会」、「しらかた交遊会まつり」、「白方地区自治会単独によるワークショップ懇談会」、一部専門部会事業には中止もありましたが、ほぼ予定通り実施いたしました。

各専門部会の活動内容については、部会活動報告を参照願います。  
コロナ感染症による過酷の 1 年間、役員及び各部会員、白方コミセン事務局、地区の皆様方の多大なご理解とご支援、ご協力を頂き、無事終了致しました事に感謝申し上げます。



ワークショップ実施状況

## 部会活動報告

### 建設・環境部会

環境意識の向上を図り、環境保全・環境美化に努める地域



昨年度から続く新型コロナウイルス禍の影響により、今年度もほとんどの活動が出来なかった 1 年と成りました。それでも昨年同様ですが、不法投棄禁止看板の点検、交換作業だけは実施しました。地区の環境保全・美化を進める上で、ゴミの不法投棄防止は欠かせない活動であると思います。

来年度は、新型コロナウイルス禍が収束し、十分な活動が出来る様願っております。  
今後も皆様のご協力とご支援をお願いいたします。  
(部会長 藤井 敏夫)

### 安全・安心部会

災害や犯罪に強い、安全で誰もが安心して暮らせる地域



白方地区の安全を守る事を目指して、白方小学校通学路のパトロール、交差点での立哨、地域住民や子供たちへの声かけ等を行いました。

しらかた交流会まつりでは、芋掘り体験及び祭りの交通整理を担当、その他の活動については、残念ながら新型コロナウイルス禍の影響で中止となりました。

新年度は、新型コロナウイルス禍が一日も早く収束して計画した行事が出来る事をお祈りします。

最後に、関係者の皆様へ日頃からのご協力に感謝申し上げます。(部会長 一条 富雄)

### 農・工・商部会

農業にふれあい、農業を守る地域



今年度は、コロナ禍の中皆様のご協力により、「芋掘り収穫祭・しらかた交流会まつり」と今回初めての行事「野沢菜漬け講習会」を開催する事ができ感謝申し上げます。

新年度も引き続き、コロナ感染対策を講じると共に、コロナ禍の収束を願い、様々な行事が実施出来る事を願っております。

今後も関係者のご協力とより多くの皆様の参加をよろしく願います。  
(部会長 川上 文典)

### 企画・総務部会

誰もが気軽に参加し、交流が活発な地域 (コロナ禍を意識した事業の推進)



前年度はコロナウイルス感染予防という見地から「しらかた交遊会まつり」「区対抗グランドゴルフ大会」等が中止になりましたが、今年度はコロナも落ち着いたこともあり、内容を一部変更して実施することができました。

ようやく元の生活に戻れると思っていた矢先、オミクロン株という感染力の高いコロナウイルスの出現により、計画の遂行が上手くいかなくなる懸念が生まれました。

コロナウイルスのこれまでの流れから、当分コロナ感染防止を意識した事業の推進が求められています。  
(部会長 小野寺紀夫)

### 「第21回しらかた交遊会まつり」「芋掘り収穫祭」を開催

令和3年10月3日(日)に交遊会まつりが開催されました。それに併せて前日には芋掘り収穫祭も実施しました。交遊会まつりでは、コロナ禍のなか密を避けるため駐車場で「生芋、焼き芋、地元野菜」の販売を行いました。



### 「第9回グラウンドゴルフ大会」を開催

令和3年11月21日(日)に4地区32名の方々が参加しグラウンドゴルフ大会が開催されました。



### 「野沢菜漬け講習会」を開催

初めての試みである「野沢菜漬け講習会」が、令和3年12月12日(日)に開催されました。コロナ禍の中、「蕎麦打ち講習会」の代わりに感染予防を意識して屋外で出来る行事として開催されました。



支え合い、ともに健康でいきいき暮らせる地域



## 白方地区社会福祉協議会

深めよう 地域のふれあい  
広めよう ふくしの輪

# ふくし白方

## 1年間の活動を振り返って

白方地区社会福祉協議会 会長 黒澤 一則

「令和3年度を振り返って」と言っても残念ながら特筆すべき内容はなく、只々新型コロナウイルス感染症の影響が強く印象に残っている事です。会の事業計画も令和2年度に引き続き、ほぼ全てが延期か中止になってしまいました。

コロナウイルスは、自らの生存のため人などの生物の中に入り込み、大量のコピーを製造し逞しく生きていきます。一方私たちはコロナを前に成す術がなく多くの活動を取止め、活動関係者との連携、コミュニケーションも図れずにて、会の運営が停滞してしまっています。

一日も早く、この感染症の影響から脱却し関係者全員の顔を見て活動できる日を復活させ、活動の輪が広がる事を強く願っております。

## 活動報告

### 1. 地区社協事業

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、計画された事業はほとんどが中止になってしまいましたが、唯一ふれあい協力員研修会が開催されました。



ふれあい協力員研修会「感染症対策講話」

### 2. 各地域事業

各地域の事業も、世代間交流会、ふれあい敬老会、ふれあいサロン等、年度初めに計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施することができませんでした。 ※ふれあい敬老会は各地域とも中止になりましたが、お祝い品をお届けしました。



岡区 小地域推進会議

白方区 敬老記念品のお届け

百塚区 クリスマス会

ともに学び、ともに育て、歴史文化を大切にする地域

教育  
部会

# 青少年育成東海村民会議白方支部

しらかた

## 支部の活動を振り返って

青少年育成東海村民会議白方支部 支部長 佐藤 弘昭

日頃より、白方小学校学区の皆様には、青少年育成活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。また、活動に係わる家庭委員会・青少年委員会・地域委員会・広報委員会の各役員・関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、昨年からの新型コロナ禍での活動等が制限される中、美化活動(地域委員会)、「歴史と未来の交流館」における研修会(家庭委員会)、親子ふれあいウォークラリー(青少年委員会)の行事等、感染防止対策を図り関係者各位と皆様のご協力を頂き無事に行う事が出来ました。有難うございます。

これからですが、日々新型コロナウイルス感染のニュースが流れていて、収束の見通しが絶たない状況であります。

活動におきましては、感染予防対策(マスク着用・こまめな手洗い・密閉、密集、密接の回避)を十分に図り、小学校学区の皆様と各委員会の皆様との連携を図り進めて参りたいと思います。

関係各位様のご協力の程、宜しくお願いいたします。

## 活動報告

### 白方小学校花いっぱい運動

令和3年7月17日(土) 参加者43名

ひまわり、コスモスの種まきをしました。



### クリーン作戦

令和3年7月25日(日) 参加者147名

各区ごとに、通学路に落ちているゴミを拾いました。



### 研修会(家庭委員)

令和3年10月30日(土) 参加者10名

「歴史と未来の交流館」で東海村や白方地区の歴史についての講話、館内ツアーに参加しました。



### 親子ウォークラリー大会

令和4年1月15日(土) 参加者11組35名

チェックポイントを探しながら約5km歩き、タイムを競いました。



## 事業実施状況

今年度は「新型コロナウイルス感染防止」のため、中止になる事業がありました。今年度計画された事業と実施状況は下記となります。

実施予定	委員会	事業名	実施状況
7月17日	地域委員会	白方小学校花いっぱい運動	実施
7月25日	地域委員会	白方地区クリーン作戦	実施
8月	家庭委員会	親子映画会	中止
9月18日	青少年委員会	親子ふれあいハゼ釣り大会	中止
10月30日	家庭委員会	家庭委員会研修会	実施
1月15日	青少年委員会	親子ふれあいウォークラリー大会	実施
2月	家庭委員会	親子工作教室	中止
3月21日	青少年委員会	白方小学校卒業祝菓子贈呈	実施予定(手作りせず業者に依頼)

### 「フラワーアレンジメント講習会」を開催

令和 3 年 12 月 26 日 ( 日 ) 参加者 22 名  
講師：伊藤真理 先生



### 「折り紙サロン」を開催

令和 3 年 8 月 2 日 ( 月 ) から活動中  
講師：辻本京子 先生



### 白方コミセンからのお知らせ

折り紙サロンを毎月 2 回開催しています。講師は、粘土・ペーパークラフト作家として活躍されている百塚区在住の辻本京子先生です。先生オリジナルの万華鏡作りにもチャレンジしました。また、コミセンロビーにおいて、コミセンで活動している「書道」「大人の塗り絵」「折り紙サロン」グループの方々の作品を掲示していますので、是非ご覧下さい。



折り紙 万華鏡

### 今後の日程

令和 4 年 4 月 23 日 ( 土 )	白方地区自治会	令和 4 年度定期総会
令和 4 年 4 月 17 日 ( 日 )	白方地区社会福祉協議会	令和 4 年度定期総会
令和 4 年 5 月	青少年育成東海村民会議白方支部	令和 4 年度定期総会



### 編集後記

梅一輪一輪ほどの暖かさ 「服部嵐雪」  
 今年も梅の花が咲き始め、春の訪れを感じると共に、自然の営みに素晴らしさを改めて感謝するところです。日本には四季があり、その時々の変化が人の心を豊かにさせることは、俳句や短歌などの文芸が存在することからも理解できます。  
 白方地区自治会も四季に合わせて年間の行事が計画されておりますが、ご案内のごとく新型コロナウイルスの影響を受け、計画の中止や内容の変更を余儀なくされています。  
 計画を実行できなかった事もさることながら、活動ができない事による団体・組織の衰退と今後の維持、継続が難しくなることが懸念されます。  
 人間はそれぞれが持っている「機能」を使わなくなると衰退する事は自然の理で、社会に存在するあらゆる団体・組織もこれと同じです。  
 コロナ禍における地域活動のあり方を考える時期に来たようです。

企画・総務部会長 小野寺紀夫